

施主様用

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

スタイルコート

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	4
3.使用方法	5
3-1 折戸パネルの使用方法	5
3-2 折戸パネルのロック方法	6
3-3 上げ下げ窓の操作方法	7
3-4 網戸格子の脱着	7
3-5 ステップの設置方法	8
3-6 下レールカバーの設置方法	8
3-7 ご注意とお願い	9
4.お手入れについて	10
5.修理を依頼する前に	12
6.修理	13
7.別売り品	13

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

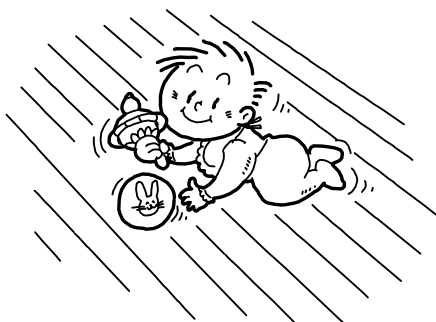
1 安全のために必ず守ってください

⚠ 注意



- 日中、日差しが強いときに、カセットコンロ用ボンベなどの高圧ガスを使用した可燃性製品は置かないでください。破裂してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



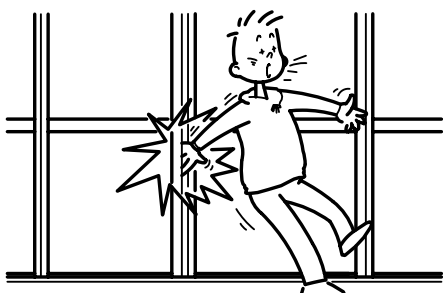
- 乳幼児を1人で遊ばせないでください。日中、日差しが強いとき等、折戸パネルを閉じるとパネル内の温度が上がって危険です。また、木部のササクレや下レールのつぎ目などでケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



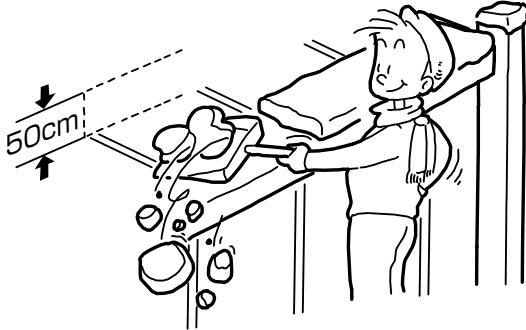
- 折戸パネルに寄りかかったりしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- 折戸パネルを開閉しているとき、パネルとの間にはさまれないように注意してください。

注意



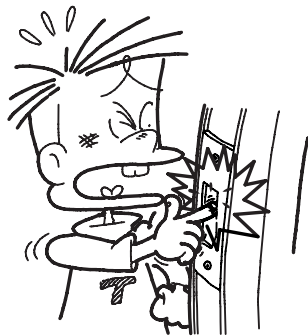
- 屋根材の上に積雪が50cmを超える前に雪おろしをしてください。屋根材が雪の重さで破損してケガをするおそれがあります。
- ・積雪量は、積雪1cmあたり3kg/m²として算出しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。

注意



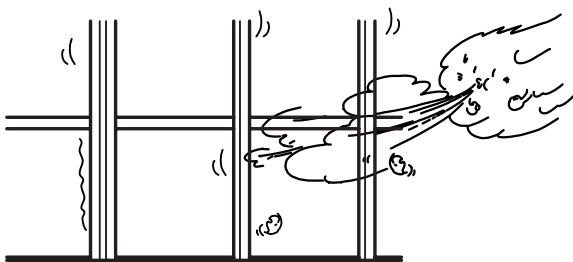
- 屋根の上に乗らないでください。また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。

注意



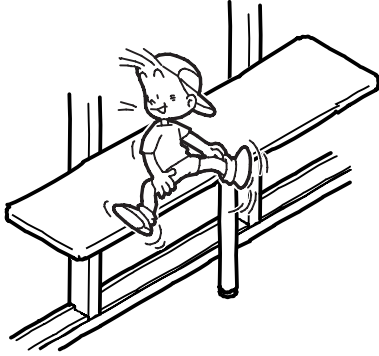
- 錠の受け金具(ストライク)の穴に指を入れないでください。指を切ったりケガをするおそれがあります。

注意



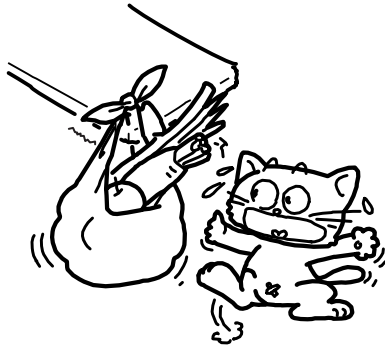
- 台風など強風が吹くときは、折戸パネルを必ず全閉にしてロックしてください。パネルが破損したり、屋根材が飛んでケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- テーブルに乗ったりぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。部材が変形・破損したりしてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- テーブルに30kgを越える重い物を載せたり、吊るしたりしないでください。本体が落下したり、壊れてケガをするおそれがあります。
- 棚板に60kgを超える重い物を載せたり、吊るしたりしないでください。

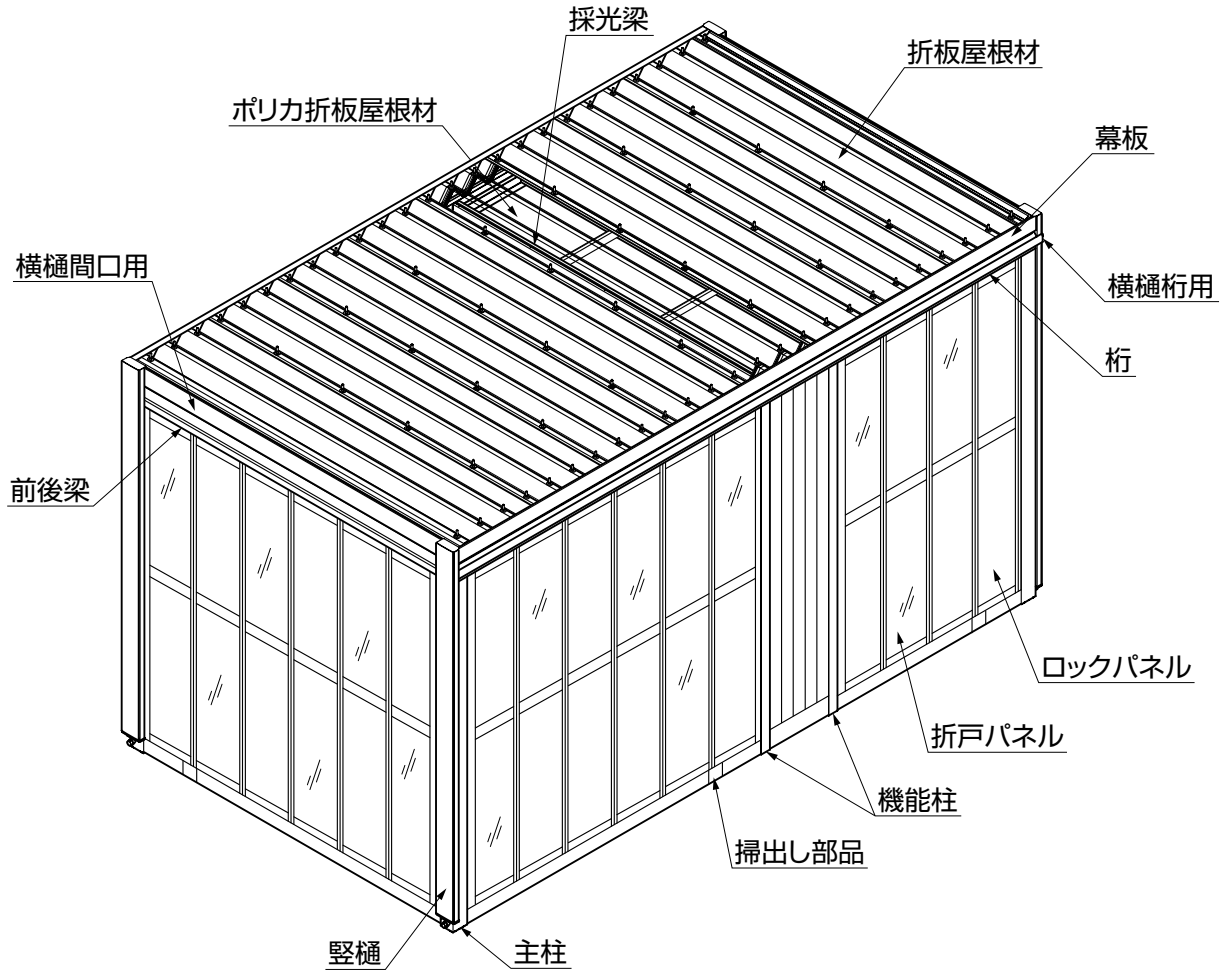
⚠ 注意



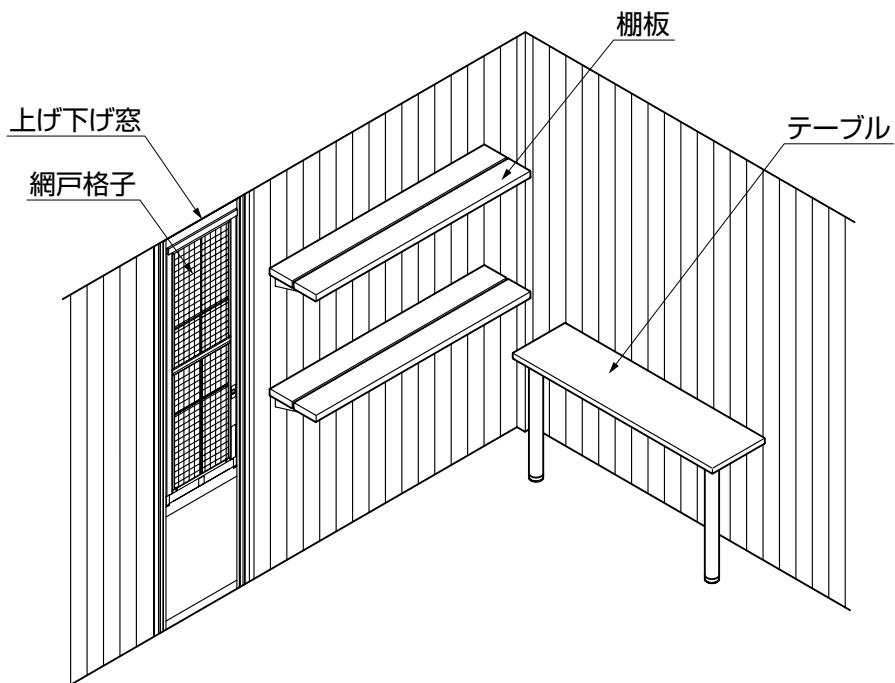
- 上げ下げ窓を閉めるとき、下枠と窓の間に手や指などをはさまないように注意してください。

2 各部の名称

(1) 本体

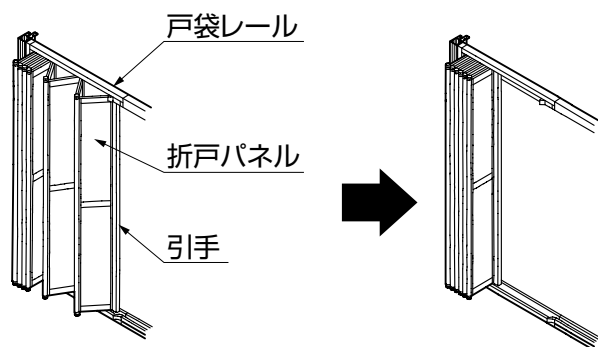


(2) 内部

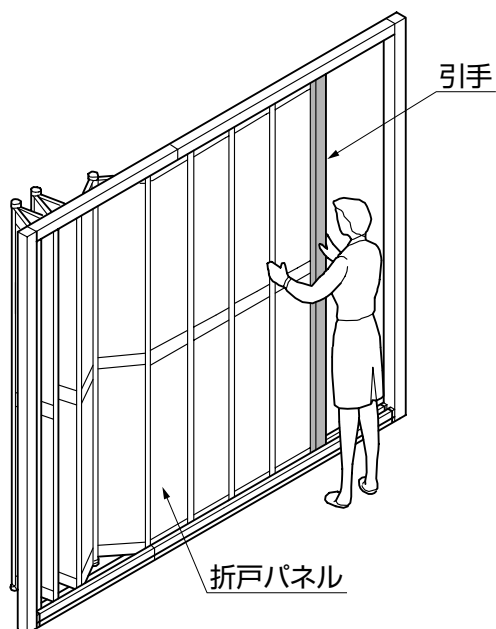


3 使用方法

3-1 折戸パネルの使用方法



①折戸パネルを折りたたみます。



②折戸パネルの引手部を持って、開閉します。

お願い

- 折戸パネルを折りたたみきっていないと、パネルを引き出すことができません。無理に開閉すると破損の原因になります。



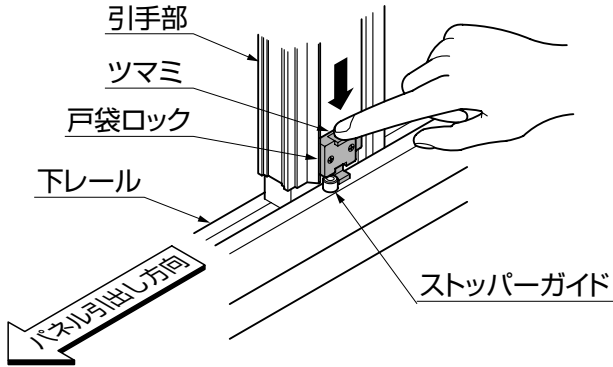
補足

- 風の抵抗が強く、折戸パネルを開閉しにくい時は、戸袋レール部で操作するとスムーズに開閉できます。



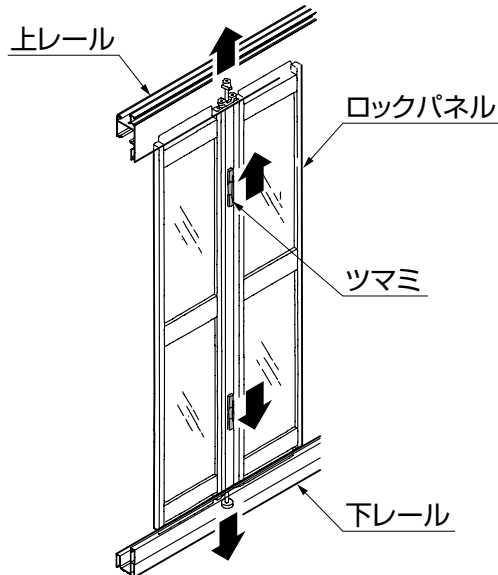
3-2 折戸パネルのロック方法

(1) 全開時のロック方法



- ①引手部の下部に付いている戸袋ロックのツマミをストッパーガイドに落とし込みます。

(2) 全閉時のロック方法



- ①ロックパネルの上下に付いているツマミを移動してロックします。
- ・ロックパネル上部のツマミを上げるとロックします。
 - ・ロックパネル下部のツマミを下げるとロックします。

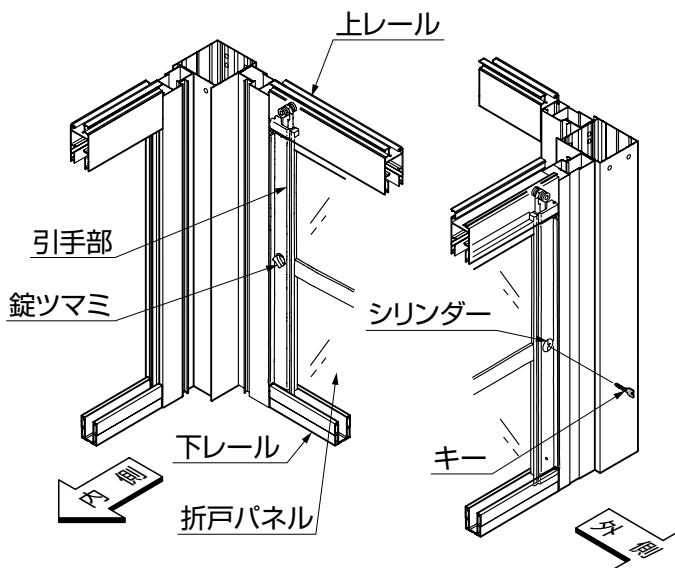
⚠ 注意

- ロックパネルの開閉には、ツマミを上下にスライドするように操作してください。回転などの操作で、ツマミが破損するおそれがあります。

✎ 補足

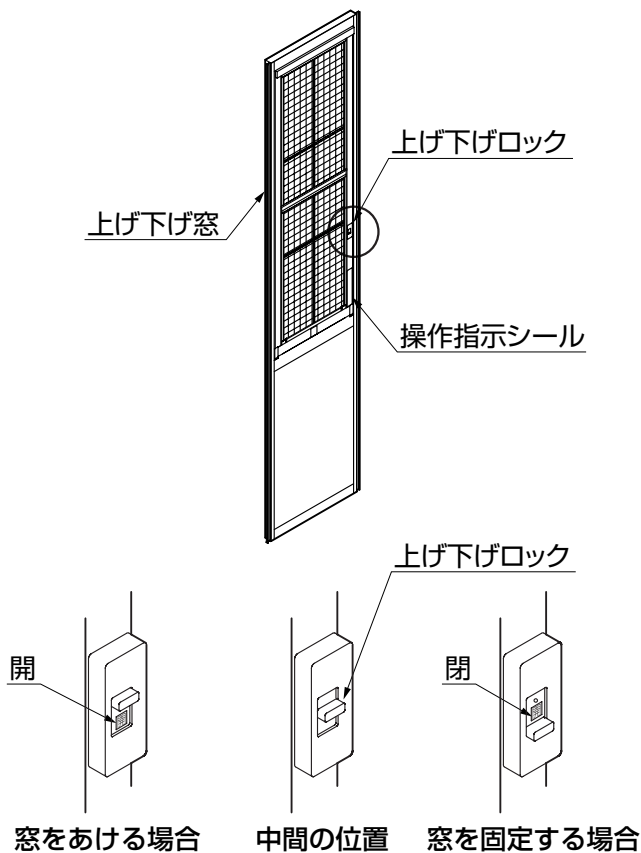
- ロックパネルは、最後尾の1セットまたは2セットの折戸パネルについています。

(3) 錠の操作方法



- ①引手部に付いている錠ツマミを反時計方向へまわして施錠します。
キーで施錠する時は、時計方向へまわします。

3-3 上げ下げ窓の操作方法

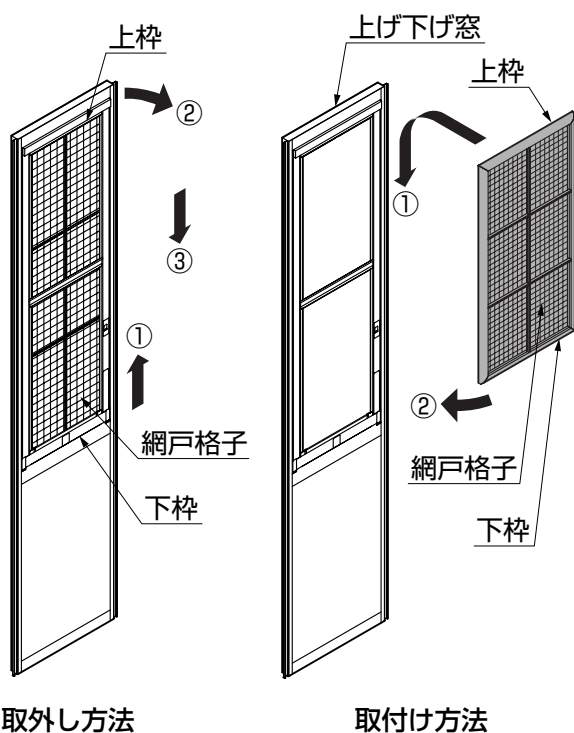


- ① 上げ下げ窓の操作を行なう場合は必ず、上げ下げロックのつまみを一番上「開」の位置まで持ち上げて操作を行なってください。
- ② 半開の状態に固定する場合は、上げ下げ窓を全開にしてから上げ下げロックを中間の位置にし、ゆっくり窓を下げていくと半開状態の固定位置で窓がロックします。
- ③ 再び開閉操作を行なう場合は、ロックを「開」の位置にし操作してください。

補足

- 上げ下げ窓のロックは全閉時と半開時に固定できます。上げ下げロックの下にある操作シールを参照し、操作を行なってください。

3-4 網戸格子の脱着



取外し方法

- ① 網戸格子の下枠を持ち上げます。
- ② 網戸格子の上枠を手前に引きます。
- ③ 網戸格子を下げ、下枠をはずします。

取付け方法

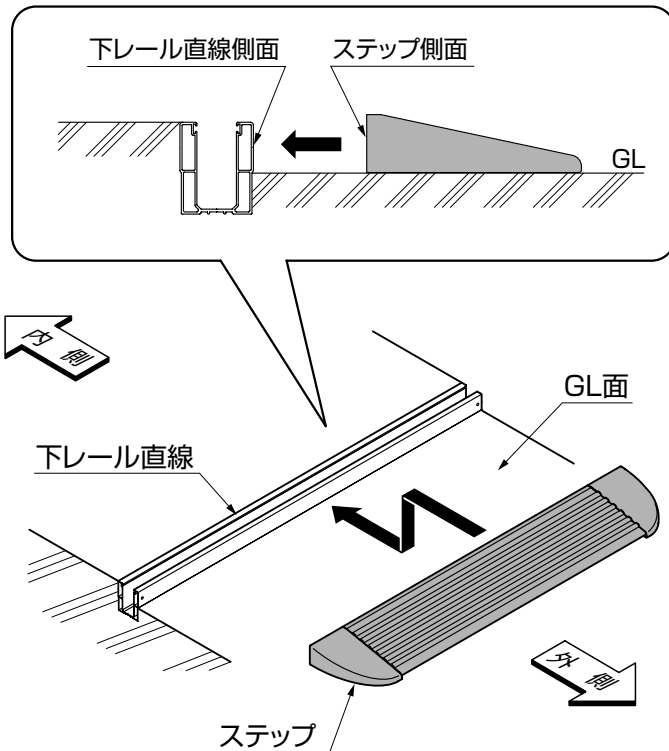
- ① 網戸格子の上枠をパネルに引っ掛けます。
- ② 網戸格子の下枠をパネルに押し付けます。

補足

- この時、上げ下げ窓と網戸格子が斜めにならないように注意してください。



3-5 ステップの設置方法

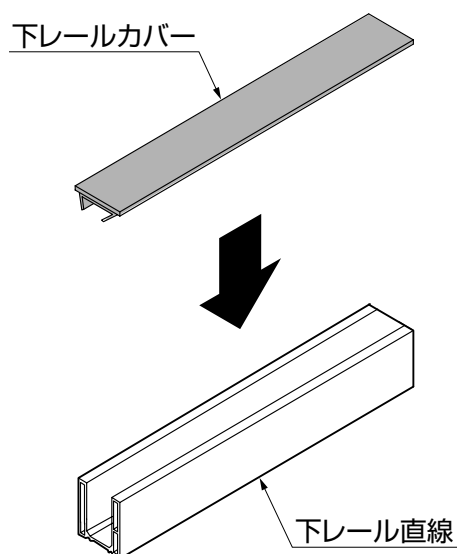


①ステップ側面を下レール直線の側面にあてるように設置してください。

お願い

- ステップを置くときに、下レール側面とGL面にゴミ等がないことを確認してください。ゴミ等がはさまると、ステップのガタツキや変形、またはキズがつく原因になります。

3-6 下レールカバーの設置方法



①下レールカバーの下面凸部を下レール直線部の溝に入れてください。

お願い

- 下レールカバーを置く時に、下レール上面にゴミ等がないことを確認してください。ゴミ等がはさまると下レールカバーのガタツキや変形、あるいは下レールがキズが付く原因になります。
- 折戸パネルを閉める時には、下レールカバーを外してください。下レールカバーを設置した状態で、折戸パネルの開閉はできません。

補足

- 下レールカバーは、ステップ設置場所に設置してください。

3-7 ご注意とお願い

⚠ 注意

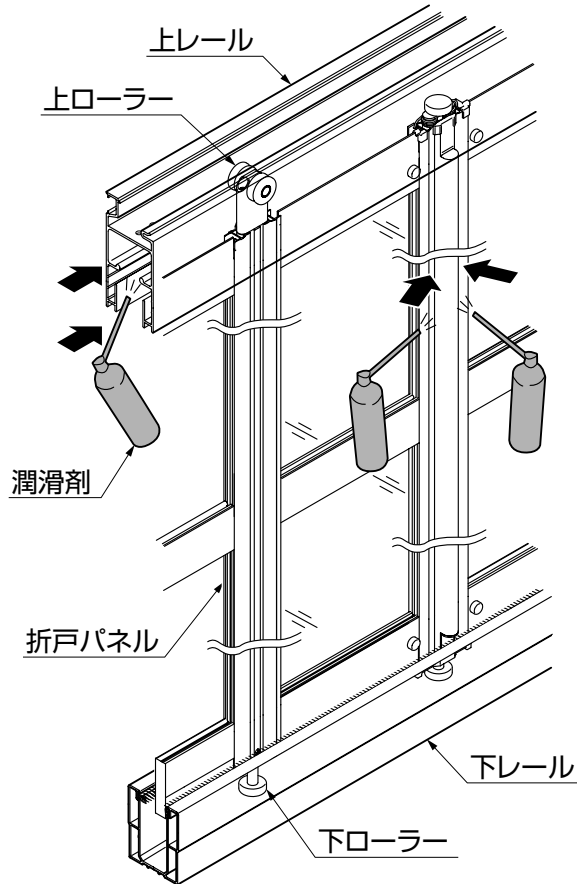
- 錠は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことができなくなります。
- 錠穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。スムーズに動かなくなったら、シリンダー専用潤滑剤を錠穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- パネルの近くに物を吊さないでください。強風時および開閉時にパネルに当たり、破損の原因になります。
- 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり、キズが付く原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。
- 内部で暖房器具、バーベキューコンロを使用しないでください。部材が変形・破損するおそれがあります。

お願い

- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- 弊社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- ボルト、ナット、ネジ等は絶対にゆるめないでください。
- キーはメーカー純正のものを使用してください。
- 地域・気候・使用状況などによっては、屋根材やパネルに結露が発生します。結露水が落ちる場合がありますので、その付近には電気製品やソファ等、濡れては困る物を置かないでください。

4 お手入れについて

(1) 折戸パネルのお手入れ

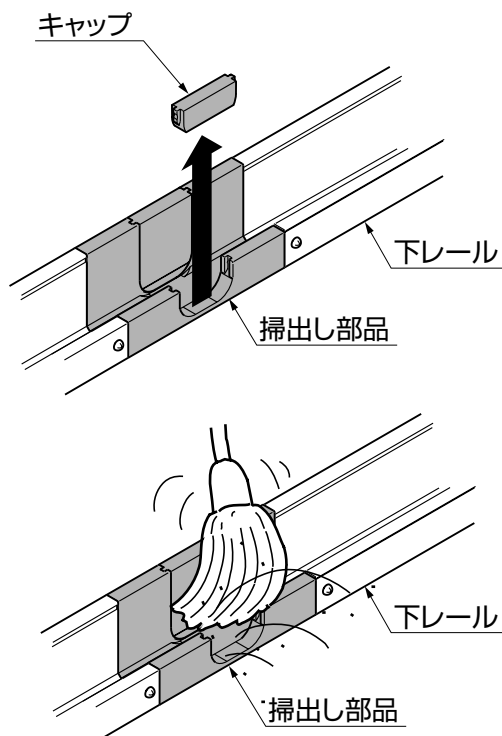


- ①折戸パネルの開閉がスムーズでなくなったときは、スプレー式潤滑剤(シリコン系)を各箇所(矢印部)に2~3秒吹き付けてください。

補足

- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。指定以外の潤滑剤を吹き付けるとローラーの割れの原因になります。

(2) 下レール溝内の清掃

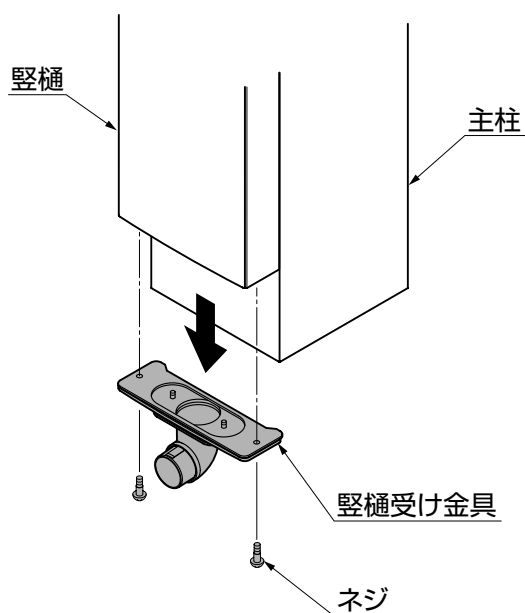


- ①下レールの溝内にゴミ、小石などがつまって折戸パネルがスムーズに動かない場合は、定期的に清掃してください。

補足

- キャップを取外して掃出し部品から清掃できます。

(3) 縦樋の清掃



お願い

- 縦樋の中に枯葉、ゴミなどがつまって雨水がたまってしまう場合は、定期的に掃除してください。

補足

- 縦樋受け金具を取外して清掃できます。
- 縦樋受けを取外すときは、短いドライバーを使用してください。

- ① プラスドライバーを使用して、ネジを取外してください。
- ② 縦樋受け金具を下にさげ、支柱から取外してください。
- ③ 掃除後は取外した部品を元の位置に組付けてください。

(4) アルミ部、折戸パネル、テーブル、棚板の清掃

- ① 年に2～3回水洗いをして拭き取ってください。
 - a. 汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
 - b. 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭き取ってください。

お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。材料が変形したり、塗料がはげることがあります。
- 小石・砂などが付着したままでこするとカウンターテーブル表面にキズがつきます。あらかじめ取除いてください。

(5) 天板（天然木）について

- ① 木は自然素材のため、使用にさしつかえのない範囲で節があります。また、ソリやヒビが生じる場合がありますが、強度への影響はありません。
- ② 木は自然素材のため、木目や色合い。木肌バラツキがあります。素材の色合いのバラツキによって、塗装後の製品も仕上がり色に差が生じますが、自然素材を生かした製品のためご理解をお願いします。
- ③ 塗装される場合は、木材保護着色塗料での塗装をおすすめします。塗装後は、木材保護着色塗料の変調に注意し、1～3年に1度再塗装してください。

(6) キズの補修

- ① あやまって脚にキズをつけた場合は、弊社の補修塗料（アルミ製品用）で補修してください。放置すると腐食の原因になります。



5 修理を依頼する前に

- 故障かなと思ったときは、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
折戸パネルがスムーズに 開閉しない	下レールの溝内にゴミや小石など がありませんか	下レール溝内を清掃してください （「4 お手入れについて」参照）
	上ローラー・折戸パネルの滑りが 悪くありませんか	上ローラー・折戸パネルに潤滑剤 を吹付けてください （「4 お手入れについて」参照）
	積雪量が50cmを超えていませんか	雪下ろしをしてください （「1 安全のために必ず守って ください」参照）
桁先から雨水が垂れる	樋樋に枯葉などがつまっていませんか	樋樋を清掃してください （「4 お手入れについて」参照）

6 修理

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		その他	

7 別売り品

- 下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
 - ・補修塗料(アルミ形材用)
誤ってキズをつけたときの補修にご利用ください。
 - ・木材保護塗料



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

東洋エクステリア株式会社

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

取説コード

UD079

JZZ613033
200605A_1007